

主な学校感染症一覧表

下の一覧表にあげた病気は「学校感染症」といわれ、たとえ軽症でも登校できません。医師により学校感染症と診断された場合には、所定の用紙「学校感染症罹患報告書」に**医師から**記入していただき、病院からもらう「薬の説明書」とともに担任の先生または保健室まで提出してください。これは法律で定められた「出席停止」で、欠席扱いにはなりません。
※生徒または保護者の自己判断は認められません。



◆第1種学校感染症◆

エボラ出血熱・クリミアコンゴ出血熱・ペスト・マールブルグ病・ラッサ熱・急性灰白髄炎・コレラ・細菌性赤痢・ジフテリア・腸チフス・パラチフス・**新型コロナウイルス**

◆第2種学校感染症◆

病名	出席停止	主な症状	侵入経路	潜伏期間	感染可能期間	予防方法	好発季節
インフルエンザ	発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで	急な発熱、頭痛、関節痛、全身倦怠感、咳、鼻水、のどの痛み	飛沫	1～3日	発病後3～4日	うがい、手洗い、マスク、予防接種(任意)	冬12～3月
百日咳	特有の咳が消失するまで、または5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が完治するまで	コンコンという短く激しい咳が続く	飛沫	1～2週間	発病後28日	予防接種	夏
麻疹(はしか)	解熱後3日を経過するまで	発熱、咳、鼻水、目やに、結膜充血、頬の内側にコプリック班(白点)ができる。発熱後4日目より皮膚に発疹	飛沫	10～12日	発疹の出る5日前～後4日	予防接種	冬～春
流行性耳下腺炎(おたふく)	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身症状が良好になるまで	37～38℃の発熱、片側～両側のあごの後ろが大きく腫れて痛む、食欲不振、嚥下困難	飛沫	1～2週間	発病7日前から発病後9日	患者の隔離、予防接種(任意)	冬～春
風疹(3日はしか)	発疹が消失するまで	発熱、発疹、耳の後ろ・首・脇の下などが腫れる、咳、結膜の充血	飛沫	2～3週間	発疹のでる7日前から、出た後の7日間	患者の隔離、予防接種	春～夏
水痘(水ぼうそう)	すべての発疹が痂皮化するまで	水痘のある発疹が体中に次々にできる、かさぶたになり、先に出たものから治っていく。	飛沫・直接	2～3週間	発疹のでる1日前からでた後の6～7日	患者の隔離、予防接種(任意)	冬～春
咽頭結膜熱(プール熱)	主要症状が消失した後、2日を経過するまで	発熱、のどの痛み、結膜の充血、首のリンパ節の腫脹	結膜接触・汚染物	5～7日	発病後2～3週	水泳禁止、洗眼	夏～秋
結核	病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めるまで	初期は自覚症状なし。X線で発見されることが多い。疲労感、寝汗、微熱、体重減少、肩こり、咳、たん	飛沫	1～2か月		BCG接種、X線による早期発見。栄養と休養	なし
髄膜炎菌性髄膜炎	病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めるまで	高熱、皮膚や粘膜における出血斑、関節炎等。ついで髄膜炎(頭痛、吐き気、精神症状、発疹、項部硬直)	気道飛沫	3～4日		予防接種。接触者の抗生物質投与	

◆第3種学校感染症◆

ただし、第3種のその他の感染症については病気が治癒していなくても診断によって出席停止とならない場合もあります。医師の指示に従ってください。

病名	出席停止	主な症状	侵入経路	潜伏期間	感染可能期間	予防方法	好発季節
流行性角結膜炎		眼の異物感、涙がよく出る、目やに、結膜の充血	結膜接触・汚染物	5～7日	発病後2～3週	水泳禁止、患者の触ったものを消毒する、手洗い	春～夏5月頃
急性出血性結膜炎		眼の痛み、きつい充血、出血してくる	結膜接触・汚染物	1～2日	発病後5～7日	患者の触ったものを消毒する、手洗い	春～夏
腸管出血性大腸菌感染症(O-157)		激しい腹痛、水様性の下痢、嘔吐、吐き気	経口	3～8日		手洗い・加熱消毒	
ヘルパンギーナ		高熱(38～39℃)、のどの痛み、発赤、のどの奥に小さな水疱疹、潰瘍	飛沫	2～7日	発病後2～3日	外出を避ける	夏
溶連菌感染症		高熱(39℃)、発疹、扁桃の発赤や腫れ、のどの痛み、いちご舌	飛沫	2～5日	治療開始後24時間	うがい、手洗い	
マイコプラズマ感染症		発熱、乾性の激しい咳が続く、のどの痛み、胸部レントゲン陰影	飛沫	2～3週間	急性期	マスク	
伝染性紅斑(リンゴ病)		両頬に少し盛り上がった蕁麻疹様の発疹、手足に網目状の紅斑、発熱	飛沫	10～20日	発疹の出る1～2週間前の数日間		冬～春
手足口病		軽い発熱(2～3日)、小さな水疱が口の中や手足にできる	飛沫	2～7日	症状のある間	手洗い、消毒	夏
RSウイルス感染症		発熱、鼻水、咳、喘鳴、呼吸困難	飛沫・接触	2～8日	症状前～3週間	手洗い・うがい	冬
感染性胃腸炎・流行性嘔吐下痢症	発熱、腹痛、下痢、嘔吐、便が白くなる(ロタ)	経口・飛沫	1～3日	症状がある間	手洗い・消毒		
アタマジラミ・伝染性軟属種(水いぼ)・伝染性膿痂疹(とびひ)	登校しながらの治療が可能	出席停止の必要はありませんが担任にはご連絡下さい。					